



城島ふれあいの里 通信 第19号

発行責任者: 湯浅 保
〒254-0004 小鍋島 621-1
TEL・FAX 0463-53-1822

生活支援活動が大切!

今年の3月末の「城島ふれあいの里」ボランティア総数は113名、このうち88名が身近な生活支援活動を志望しています。

登録されている主な生活支援は右のようなものがあります。個人の方から依頼されるものがほとんどですが、現実にはゴミだしの手伝い、話し相手、草むしりなどが数件にとどまり、まだまだ普及していないのが現状です。個人的な依頼を受けなくても継続的に行っている支援もあります。その一つが登下校の見守りです。登下校の時間に合わせ通学路に立ったり、犬の散歩をしながら見守りをして下さる方もいます。その他、個人の特技を生かした支援もあります。手芸の得意な方がボランティアに教え、それを地域の方に教えたり、手先の器用な男性がふれあいの里の排水溝整備やサロンイベント用の小道具を作ったりしています。皆が集える場所を作るにより、支援依頼をしやすくしたいという思いもあります。

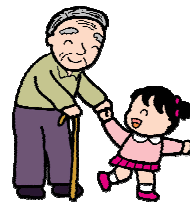
「城島ふれあいの里」のボランティア活動は、それにかかわる人が自分自身の生活を活性化し豊かにすることが初めにあって、その輝きと温もりを身近な人々に及ぼし伝搬させていくことが、最も大切なことと考えています。「町内福祉村」としての「城島ふれあいの里」設立の目的の最も中心的課題は「地域の中で支えられたり、支えたり」の日常的なつながりの積み重ねにあります。このような考え方を基本にして今後の生活支援活動を展開していきたいと思えます。

身近な生活支援

- ・声かけ、見守り
- ・ゴミだしの手伝い
- ・買い物代行
- ・散歩の付き添い
- ・話し相手
- ・ちょっとした修理、つくろい
- ・草むしり、庭木の手入れ
- ・その他簡単な支援

～ 城島地区における支援対象者の状況 ～

城島地区には現在65歳以上の高齢者でひとり暮らし等の方と障害をお持ちの方を合わせて100余名程居られます。地域の中で身近に声かけや見守りなどの支えあいが是非とも必要です。



支援3人組の紹介



- 須藤千恵子さん (小鍋島・H20.7.7 入会)
- 清田裕子さん (大島・H21.10.5 入会)
- 須藤エイ子さん (小鍋島・H21.10.5 入会)

この三人はいつも三人揃って、定期的に「城島ふれあいの里」の庭の草取りや清掃をしておられます。なぜいつも三人が一緒なのかと伺ったところ、そもそも須藤さんが毎週火曜日、一人で「城島ふれあいの里」の庭の草取りをしているのを見て、私も、私もと加わって3人組みとなったとのことでした。

10月17日は市から頂いたチューリップの球根とパンジーの植え付けを庭の花壇にいただきました。こうした活動も支援活動の一環として活動記録に留めておきたいと考えております。

初めての試み...

ビデオの上映会

日時 : 平成21年11月28日(土)

9時30分 ~ 11時30分

会場 : 城島ふれあいの里 和室

内容 : 「ストップ! 地球温暖化」

「ボランティアで生き生き人生」

「平塚から見える富士」

他...

自宅では味わえない大きなスクリーンで映像を楽しみたいと思えます。上記タイトルのビデオ以外も検討中。

是非、お誘いあわせのうえ、お出かけください。